

猪名川町水道事業ビジョン（概要版）（案）について

提出された意見全文と要約

意見募集期間：令和6年12月12日～令和6年1月11日

意見提出者数：6人

提出意見数：19件

■猪名川町水道事業ビジョン（概要版）（案）について提出された意見全文と要約

意見書 NO	意見全文	意見番号	要約	要約番号
1	<p>この町の水道事業の内容を拝見し、奇異に感じることは、一貫して「県水」依存型になっていることです。当初然るべき事情があったことかもしれませんが寡聞にして知りません。本来は、「自己水」型であるべきだと考えます。事業開始以降、50年の歳月が過ぎたとのことですが、この間に、この偏向を議論し、<u>事業内容の基本構造を「自己水」中心型に転換する設備投資計画を検討したことがあったでしょうか。また、今後検討する考えがあるのでしょうか。</u>この計画がビジョンとタイトルに名を打つ以上、この点を主要項目とした長期展望計画であるべき考えます。</p> <p>釈迦に説法ながら、「県水」中心の事業は、配管並びに揚水施設等の建設やその後の維持管理に余分なコストを要し、勢い経営体質を脆弱化する要素を内包しています。また、当事業の主たる目的の一つである、「良質の水の確保」をも端的に言っておぼつかない状況にすることでしょう。加えて、近年の収支の悪化が、この体制に起因するものとしたら、そしてまた、その故にその打開策をこの度のような安易な料金値上げという弥縫策に求めたとしたら、我々住民は到底納得することはできません。のみならず、何年か前に、近隣市町並みをめざすとして値下げを敢行した料金改定の意味も、その努力もすべて水泡に帰すところとなります。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 県水に依存している考えとなっているが、「自己水」型事業体制としたほうが良いのではないか。 • 町全体の予算を再度見直しや、彼此流用の可能性検討等により料金値上げ率の軽減・緩和はできないか。 • ビジョン確定・成立前に説明会を開催していただけるか。 	<p>1-①</p> <p>1-②</p> <p>1-③</p>

	<p>当ビジョンには、ぜひとも、長期的視野に立ち、「自己水」型事業体制への構造改革の必要性を掲げ、可及的速やかにその着手に当たることを明記していただきたいと思えます。幸い当町は、すぐ近くに、かつ、町より高い位置に、豊富で良質な「一庫ダム」という水資源を持つ好立地にあります。つまり、「自己水」の確保を最もしやすい環境下にあります。この施策により、水道事業の赤字体制からの脱却、つまり、収支の恒久的安定実現の可能性は大きくなると思えます。</p> <p>次に、上にも述べましたが、当ビジョンは、料金改定を企画しています。二度にわたるもので、最終的には144%になるという高額設定です。逐年、高齢化が進み、年金依存率の高くなりつつある住民の家計簿は、<u>この値上げの直撃により、想像以上のダメージを受けることでしょう。町全体の予算を再度見直したり、彼此流用の可能性を検討するなど、あらゆる解決策を模索して、アップ率の軽減・緩和をぜひ実現していただきたいと思えます。</u>料金値上げ問題は、先の街路樹管理計画より、より切実にして深刻であり、住民との対話は必須の要件となりましょう。<u>このビジョンの確定・成立前に各自治体単位でぜひ説明会を開催していただきたいと思えます。</u></p>			
2	<p>改定後の水道料金についての妥当性の確認の一環として、水源が同じで隣接する川西市の水道料金との比較を示してほしい。また、おそらく川西市よりも大幅に料金が高くなることに成るかと思われませんが、その要因を簡単に示していただきたい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 水源が同じで隣接する川西市の水道料金との比較を示してほしい。また川西市よりも高価になる場合、その要因を示してほしい。 	2-①

3	<p>水道料金について</p> <p>猪名川町の水道料金は、他の地域よりも非常に高額です。生活に必須な水であるからには、<u>年金生活者にも負担の少ない金額にしてください。是非値下げをお願いします。</u>そのための財源は、<u>生命の維持に不必要な、天文台・道の駅・変なぬいぐるみ・祭りへの支出等の予算を廃止、議員定数の削減をすることにより、捻出してください。</u></p>		<ul style="list-style-type: none"> 水道料金が高額なので、年金生活者にも負担の少ない金額にしてほしい。ぜひとも値下げを検討していただきたい。生命の維持に不必要な予算を削減し捻出できないか。 	3-①
4	<p>P9 自己保有水源率について</p> <p>現在、県水対町水はおおよそ9対1だそうです。</p> <p><u>今後は町内の必要水量が減少するのであれば、県町構成比を見直す機会だと思えます。県水がコストとして高いのであれば、町水をこれまで通り確保して、県水を減らす事を検討してはいかがかと思えます。</u></p> <p>P11 <u>経常収支比率は、100パーセントを目標とすべきです。</u></p> <p>施設上部、空地(減築の場合)での太陽光発電や風力発電などにより、営業外収益も検討すべき。</p> <p>また、施設の縮小により未利用の土地が出た場合は、売却か事業を積極的にし、<u>収益の確保に努めるべきです。</u></p> <p><u>少額であっても、基金の取崩は漫然と行う事は、健全な経営とは言えません。</u>なので、例えばコロナ禍などを理由とするなら、最長5年程度の期限で、取崩を伴う減免などは終える様にすべき。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 県水と自己水の比率を見直し、県水を減らした方がいいのではないか。 経常収支比率は100%を目標とすべきです。100%を目指すにあたり収益を確保するよう努めるべきです。 基金の取り崩しを漫然と行うのは健全な経営とは思えません。期限を設けて取り崩しを終えるべきではないですか。例としてコロナ禍を理由とするなら、最長5年程度の期限で、取崩を伴う減免などは終える様にすべきだと考えます。 収益の確保について、水道事業とは異なる形(タンク・配水池等のネーミングライツパートナーを募集、沿道にある施設での広告収入等)で模索するのはいかがですか。 	4-① 4-② 4-③ 4-④

	<u>その他提案として、タンク・配水池等のネーミングライツパートナーを募集したり、沿道にある施設での広告収入など、水道事業と異なる形での収益確保も模索した方がいいと思います。</u>			
5	<p>社会情勢として、収入面の水道料金は、人口の減少に伴い減少していく傾向で、支出面は施設の老朽化等で更新費用が継続・増大していく状況下では、水道料金の値上げを考えなければならない状況ですが、できるだけ<u>値上げ率を抑えなければ住民の理解が得にくい</u>ですので、<u>住民に納得できる分かりやすく資料をお願いします。</u></p> <p>P10 平成15年に水道料金を、10m³⇒17.6%値下げ。20m³⇒9.4%値下げ。 川西市よりも低い料金設定となり、値下げに伴い20年以上給水原価が供給原価を上回り、原価割れ状態が続き、<u>この期間の原価割れの財源は、水道会計の基金を取り崩して充当されてきているので、町が努力してきている内容を示す。</u> (〇〇億円の基金を料金引き下げに充当してきた)</p> <p>P12 令和3年度では、猪名川町 ⇒ 給水原価240円・供給原価174円、66円の原価割れで、類似団体は給水原価212円・供給原価195円で約50円多い原価割れ状態。(類似団体よりも赤字巾が大きい事)</p> <p>P14～15 目標は単年度黒字化を図る事。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • できるだけ値上げ率を抑制しなければ住民の理解が得られにくいので、わかりやすい資料としてください。 • 原価割れに対する財源を、基金を取り崩して充当していることを示してください。 • 財政シミュレーションの積算内容をより分かりやすく示すべきだと思います。 • 基金・資金残高を約20億円としている根拠について記載をしてください。 • 料金改定時期を2回に分ける案になっていますが、2回目を令和10年にすることは可能でしょうか。 • 2回の値上げでないと赤字になることを分かりやすく説明してください。 	<p>5-①</p> <p>5-②</p> <p>5-③</p> <p>5-④</p> <p>5-⑤</p> <p>5-⑥</p>

	<p><u>財政シミュレーションの年度毎の積算内容を分かりやすくした方が良いと思います。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水原価の内訳を記載（原水の費用、施設・水道管の更新費用、人件費等） ・供給原価の内訳を記載（水道料金の収入、基金取り崩し額等） ・<u>基金・資金残高を約20億円としている根拠の説明も記載する方が良いです。</u> <p>もっと低い基金・資金残高でもいいのではと思いましたが、能登地震等を考えると大規模災害に備えて2年分程の料金収入分の基金は必要とも考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>令和7年9月20%、令和9年4月20%値上げと、2回分けて値上げする案となっていますが、2回目は令和10年へ延期しても可能なのか？状況をみて可能なら延期すべきと考えます。</u> ・<u>2回の値上げで約43%の値上げは住民にとって厳しいと思いますので、値上げしないと赤字になることを分かりやすく説明してください。</u> 			
6	<p>下水道事業と同じく、水道料金の値上げはやむを得ないと思います。しかしながら、隣接事業体との格差をなくすためとはいえ、資金から補填している状態ではできません。そのような政策を取り続けていたことは明らかな間違いであると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道も値上げの予定があるため、<u>上水・下水の料金と同時に上がると住民への影響が非常に大きいと思われる。</u>時期やアップ率を考慮していただければと思います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・上水・下水の料金改定が同時期であると住民への負担が大きいので、時期や値上げ率について考慮できませんか ・水道料金の改定は個人・法人とも実施でよろしいでしょうか。 ・渇水対策について、一庫ダムへの依存度が高い状況は非常に危ういと思われる 	<p>6-①</p> <p>6-②</p> <p>6-③</p>

	<p><u>・水道料金の改定は個人・法人とも実施でよろしいでしょうか。</u></p> <p><u>・渇水対策について、一庫ダムへの依存度が高い状況は非常に危ういと思われます。三田浄水場からの供給は何%カバーできるのでしょうか。</u></p> <p><u>三田浄水場は青野ダムと大瀬川ダムと思いますが、渇水時は両ダムとも貯水率が低下し、融通が効かなくなることはありませんか。</u></p> <p><u>その他の渇水対策を検討いただければと思います。</u></p> <p>・先日、三田市は技術系職員の人材確保のため奨学金の減免制度を実施と新聞報道で知りました。<u>猪名川町も技術系職員確保の手段を検討してください。</u></p>	<p>す。三田浄水場からの供給は何%カバーできるのでしょうか。</p> <p>三田浄水場の水源である青野ダムと大瀬川ダムについて、渇水時は貯水率が低下し、融通が効かなくなることはありませんか。また、渇水対策等は検討されていますか。</p> <p>・猪名川町において技術系職員確保の手段の検討をしてください。</p>	<p>6-④</p>
--	--	---	------------